



新潟県小千谷市「峠 最後のサムライ」フォトギャラリー



●雪峠の碑

北越戊辰戦争の最初の戦いの地となった雪峠には、小千谷市民有志により激戦を伝えるための記念碑が建てられています。山沿いの道は旧道となっていて、当時は街道沿いの家々の中まで銃弾が飛び交い、近年まで銃弾跡が残る家がありました。(小千谷市池ヶ原の南)



●朝日山古戦場

北越戊辰戦争の激戦地である朝日山古戦場の山頂には、長岡藩ら同盟軍が築いたフランス式塹壕や野営場の跡が今も残っており、実際に映画のロケ地としても使われました。山頂への道は車で通るには少し狭いですが、当時の様子を想像しながら40分ほどの登山を楽しむのもおすすめです。(小千谷市浦柄)



●オオクラ見晴台

オオクラ見晴台は高場山の頂上付近に位置しており、榎峠の戦いのロケ地として使われました。見晴台からは小千谷市を広く眺めることができます。また毎年6月には、地元の方の熱い応援が感じられる「高場山マラソン」が開催されますので、マラソン好きな方はぜひ挑戦してみてください。



●司馬遼太郎「峠」の碑

日本一の長さを誇る信濃川に架かる「越の大橋」の西端には、司馬遼太郎「峠」の碑が建てられています。碑には、司馬氏が小説「峠」に込めた思いが直筆のメッセージで刻まれています。激戦地となった朝日山と榎峠を見守るように建てられているため、1枚の写真に収めるのも感慨深いものがあります。



司馬遼太郎著「峠(上)(中)(下)」(新潮文庫刊)

「峠」は「竜馬がゆく」「坂の上の雲」など多くのベストセラー作品を生み出した司馬氏の名著の一つ。越後長岡藩士・河井継之助の生涯をたどった傑作であり、継之助を通じて、サムライとは何か、日本人とは何かということを考えさせられる小説。上・中・下巻の3冊からなり、大変読み応えのある作品です。

青梅市吉川英治記念館リニューアルオープン



公益財団法人吉川英治国民文化振興会提供

「宮本武蔵」「三国志」などの著作で知られる国民的文学作家、吉川英治の記念館が令和2年9月、青梅市に新しくオープンしました。

生涯で約30回引っ越したという英治が一番長く暮らしたのが青梅でした。昭和19年に家族とともに移住し、穏やかな生活を送る中で、英治は敗戦後やめていた執筆活動を再開。そこで「新・平家物語」を書き始めました。また俳句の指導や公民館建設など、住民との交流や地域の発展にも尽力しました。実は、32歳の時には高円寺に住んでおり、杉並ともゆかりのある人物です。

英治が生活していた母屋の中では、作品を実際に読むことができます。また英治が付け替えた梅の飾りなど、英治の遊び心あふれる装飾を探してみるのも面白いかもしれません。敷地内にある展示館には貴重な初版本や生原稿、写真の他、「宮本武蔵」が原作の井上雄彦氏の漫画「バガボンド」の原画も飾られています。

入ってすぐのガラスの大窓から見える、まるで絵画のような庭園の風景も必見です。お帰りの際は限定グッズが買えるミュージアムショップにもぜひお立ち寄りください。

東京都青梅市柚木町1丁目101-1 ☎0428-74-9477
10:00~17:00(入館は16:30まで) 毎週月曜日休館(祝休日の場合は翌平日)



▲梅を裏側から見た形の飾り。「裏梅」と呼ばれ、英治がもとの四角い飾りから付け替えたもの。



英治が生活していた母屋



庭園

北海道の四季を感じる 宗谷線フォトコンテスト入賞作品展 and SL排雪列車「キマロキ」展

入場無料

3月22日(月)~4月9日(金) 8:30~17:00
区役所2階区民ギャラリー

「宗谷線」は、北海道名寄市を通る日本最北端の鉄道です。車窓からは、桜や利尻富士、一面に広がる黄金色の田んぼなど、季節ごとに様々な景色を楽しむことができます。



「千本桜咲きそろう頃」糸賀一典

「キマロキ」は、かつて豪雪地帯の交通網を守るために活躍した排雪列車で、今は全国で唯一名寄市のみで保存展示されています。

四季折々の景色の中を走る「宗谷線」の美しい写真や、今となっては貴重な現役時代の「キマロキ」の映像や数々の収蔵資料を、ぜひ展示会場でご覧ください。



キマロキ

閩文化・交流課 ☎3312-9415
協力:名寄市北国博物館

第18回 日本語スピーチ大会(オンライン配信)

3月13日(土)13:30~17:00

日本に暮らしている外国出身の方が、日本での生活の中で感じたこと、体験したこと、出身国のこと、また日本との違いなどについて、日本語で発表します。新型コロナウイルス感染症予防のため、今年はオンライン配信となりますので、ぜひご自宅でご観覧ください。杉並区在住、安嶋三保子さんの筆の演奏もあります。観覧のお申し込み、詳細は杉並区交流協会HPをご覧ください。

共催:杉並区・東京杉並ロータリークラブ

閩杉並区交流協会 ☎5378-8833 <https://suginami-kouryu.org/>



杉並区の国内交流自治体

- 名寄市(北海道)
- 小千谷市(新潟県)
- 東吾妻町(群馬県)
- 北塩原村(福島県)
- 南相馬市(福島県)
- 青梅市(東京都)
- 武蔵野市(東京都)
- 忍野村(山梨県)
- 南伊豆町(静岡県)
- 小笠原村(東京都)

お国自慢「ことば」編

忍野村

【ごっちょ】

「面倒くさい」の意味。「マスク着けるのとても面倒だな」を甲州弁で言うと、「マスクしゃらごっちょ」となります。新型コロナウイルス感染症防止のため、マスクを着ける生活が続いており面倒に思うこともありますが、コロナが収束するその日まで、みんなマスクを着けて頑張りましょう。

